学校番号	403

平成 31 年度　芸術（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	美術 1　（光村図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■「観察やイメージからから表現する絵画・彫刻」「機能性や目的を意識してデザインをすること」「視覚効果や視点を工夫して構想を練る映像メディア表現」「美術作品の良さを見つけ出す鑑賞」の４つの分野について年間を通して学習します。
■授業の進め方としては、導入時に各単元の学習内容についての意図や歴史的背景、美術理論などを、プリント等を交えて解説します。また具体的な参考作品や画像資料などを提示して、それらも発想の手がかりとして制作してもらいます。画材の扱い方や表現技法、色彩や構成の考え方については個別にも指導して行きます。
■学習の到達度は、題材に基づいて制作された作品、授業態度、制作・鑑賞レポートなどで評価します。
■美術の学習は美術的な表現力の獲得や向上だけではなく、それを学ぶことで、物事に対して視点の変化を促し、世界を見る視野を広げる事も目的となります。そしてそこから生活をより豊かなものにしていってもらいたいと願っています。

2　学習の到達目標

観察から基礎的な表現力や造形力を養い、想像力と感性・美術文化を理解する力を獲得する。そして自分の発想やイメージを具体的な形にし、その意図を伝える力を身につける。また様々な画材・素材に触れ、その特徴や扱い方についての理解を深め、表現の幅を広げる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、様々な表現方法や美術文化・美術理論に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞に取り組もうとする。	想像力や感性を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、美しさ、機能性や目的を意識しながら、創造的に表現のするための構図構成や構想を練っている。	創造的に意図を表現するために画材や表現の特性を理解し、技法を身につけ、テーマに適した表現方法や構成なども工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさについて創造的に味わっている。
評価方法	学習活動の様子 制作の様子 レポート 鑑賞活動などの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作の様子 制作途中の作品 作品	レポート 鑑賞活動などの様子

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【絵画】【鑑賞】 ・教科書と教室や廊下にあるたくさんの作品を鑑賞して感想レポートを作成する ・手のクロッキー	○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習について主体的に取り組もうとしている。 b: 人間の手の形が持つ構造や美しさを感じ取っている。 c: クロッキーの目的を理解し、描画材料の特性を掴もうとしている。 d:作品の持つ美しさや良さについて　自ら分析し創造的に味わおうとしている。	鑑賞活動などの様子 レポート 制作途中の作品 作品
	鉛筆デッサン	【絵画】 手のデッサン	○	○	○		a:ありふれたものを目の前にして、そこから美しさを主体的に見いだそうとしている。 b:対象の持つ構造を理解し、画面の中に美しい構図で構想できている。 c:鉛筆と画用紙の特性を理解して制作できている。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	色見本帳づくり	【デザイン】 アクリル絵具を用いて、色見本帳を作り、そこからマンセル色体系に基づく、色の三属性と色彩の対比効果や減法混色技法などを学ぶ。	○		○	○	a:体系立てられた色彩理論について興味関心を示している。 c:アクリル絵具と筆の特性を理解できている。 d: 色の三属性と対比、減法混色技法から色彩の性質を分析し、理解ができている。	学習活動の様子 作品

	今現在、高校生である自分を描く	【絵画】【鑑賞】 アクリル絵具で自由に彩色下地を作り、キャンバスボードで自画像を描く。 教科書や教室内の画集を調べて、巨匠の自画像から表現のヒントを見つける。	○	○	○	○	a:自己と向き合うことで、感情について表現することや、何故画家たちによって自画像が描かれ続けてきたのかを主体的に思考しようとしている。 b:人間の顔が持つ構造を理解しとらえようとしている。また上に描く形に配慮して彩色下地を作り、感情を表現するための色彩を選べている。そして、それらを総合して美しく構想ができている。 c:アクリル絵具とキャンバスボードの特性を理解して表現出来ている。 d:巨匠作品の表現の工夫やその良さを理解できている。	学習活動の様子 鑑賞活動などの様子 制作の様子 作品 レポート
2学期	メザシをメザス	【彫刻】 石粉粘土を使ってメザシを立体的に表現する。 さらにアクリル絵具を用いてモチーフの持つ色彩も再現する。	○	○	○	○	a:モチーフの持つ特徴を立体的に表現することに関心を持ち、主体的に制作している。 b:モチーフの持つ構造や美しさを的確に感じ取り計画的に構想できている。 c:石粉粘土や加工道具の特性を理解できている。 d:作品の良さや表現の工夫を感じ取り、立体制作への理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート
	ユーモアあふれる逆立ち人形作り	【彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・石粉粘土と針金、アクリル絵具を用いて、各自が自由に発想した逆立ちするキャラクターの人形をデザイン、制作する。 ・制作意図を発表し、互いの作品を鑑賞する。	○	○	○	○	a:イメージしたものを立体的に表現することに関心を持ち、主体的に制作している。 b:想像力を働かせて美しい形を考案し、構図構成や色彩を計画的に構想できている。 c:石粉粘土や針金の特性を理解できている。また色彩がアクリル絵具によって適切に表現出来ている。 d:作品の良さや表現の工夫を感じ取り、立体制作への理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞活動などの様子 レポート

3学期	食べ物を絵画にする	【絵画】【映像メディア表現】 スマートフォンやデジタルカメラで自由に食べ物を取材してきて、それを元に黄金分割などの構図法を交えて、アクリル絵具で絵画制作を行う。	○	○	○		a:写真などの映像メディア表現に関心を持ち、その特性を生かして主体的に取材、制作している。 b:食べ物の持つ色彩や質感の美しさを感じ取り、想像力を働かせて絵画表現しようとしている。また黄金分割などを主体的に取り入れ、創造的な画面構成が出来ている。 c:アクリル絵具の特性を理解して自分の意図を伝えるための表現が出来ている。 カメラ撮影における視点や映像効果に工夫ができている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 レポート
	紙袋のパターンデザイン	【デザイン】 自由に模様を表現した紙はんこを作り、それを繰り返し紙袋にスタンプすることで、規則的なパターンによるデザイン制作を行う。	○	○		○	a：パターンデザインに関心を持ち、主体的に制作している b:紙はんこのデザインや、規則的なパターンづくりに創造的な工夫がある。 d:規則的な模様の美しさや良さ、世界各地に見られ表現や文化について創造的に味わおうとしている。	制作の様子 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。